

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス にじいろ		
○保護者評価実施期間	7年 2月 3日		7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	7年 2月 3日		7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者支援の充実を図るため、利用者の障害特性について理解を深め、構造化した環境を整えています。	にじいろには障害特性により日常の支援に特別な配慮が必要な利用者が多いですが、毎月の会議において支援の検討を行い支援員間で情報共有を図っています。安心感のある環境設定や視覚的な構造化を行うことで、落ち着いた生活を送ることができる利用者が増えています。また、5S活動を取り入れ活動スペースの整理整頓を行い清潔で心地よい空間の設定を行っています。	構造化についての学びを継続すると共に、利用者個々の障害特性を理解し安心した環境で活動に参加できるように努めます
2	児童の皆様が通っている学校や保護者との連携は強く、情報交換を行っています。	学校への迎えの際は、情報共有を行っています。文化祭や学校の授業の様子など見学する機会を設け学校でのご本人の様子を伺うようにしています。保護者とは日々の送迎時の他、面談を行う機会を設けご家庭の様子やにじいろでの様子を共有しています。	今後も学校への見学や担当者会議を通して、情報共有を行い連携を密にできるようにします。また、保護者とお話会や保護者を招いて行うイベントなどを計画し、支援員と保護者の連携が深まるように努めてまいります。
3	活動内容や自立課題を充実させ、楽しみをもって通所できるように支援しています。	運動においては、月ごとのテーマをきめて楽しむだけでなく身体機能を向上できるような活動を取り入れています。自立課題は保護者の意見も取り入れ、個々の強みはさらに伸ばし、弱みは補えるように工夫して作成し生活スキルの向上を目指しています。また、調理実習やおやつ作りを通し、食の楽しみを伝えています。	現在の活動は継続します。また、買い物外出や昼食外出を行い、社会のルールやお金の使い方等を学びながら楽しい時間を過ごせるように支援します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の方々と地域の方との交流ができていない状況です。	コロナ禍より感染症の拡大の懸念から、地域のごみ拾い等、野外で行う活動は実施しましたが、地域の方々との交流までには至っていない状況です。また、直接支援に力を注いでいるため外部との関りが減ってしまっているのも原因と考えられます。	今後は感染症の動向を確認し、感染症対策を徹底し地域との交流が図れるような活動を取り入れていきます。併設している生活介護事業所との交流を図る機会は設けているため継続していきます。
2	保護者同士が交流する場を提供できていない状況です。	以前は保護者のお話会を実施していましたが、コロナ禍より感染症予防対策のため控えてきました。	保護者の方々からのご要望を確認し、保護者同士の交流の機会を設けられるように努めてまいります。
3	非常時の対応について（訓練の実施について）全保護者への周知ができませんでした。	今年度、安全計画を作成し保護者の方々に放課後等デイサービス計画と一緒に配布しお伝えしましたが、全保護者への周知には至りませんでした。	安全計画に対する丁寧な説明を行うように努めてまいります。また、訓練の実施についてもその都度お伝えするようにいたします。